

○ 淀川水系における社会情勢の変化や、流域治水プロジェクトに掲載の事業の進捗状況等を共有。

→毎年タイミングを見て実施(出水期前等)。

○ 流域治水の効果事例について情報共有。

→出水毎に状況確認。

効果事例を作成の上、都度共有。

住民参加の取り組み(流域治水の普及)

- 「流域治水」の取組を進めるにあたっては、地域住民の方々に理解して頂くことも重要。
- 従前から、地域への治水・防災関係の情報発信を実施することにより、自主的な取組を促進。
- 「流域治水」に関しても情報発信を進め、取組の普及・啓発を図る。

＜地域への発信＞

- ・河川レンジャーと連携し、出前講座、防災訓練への協力等を実施。
- ・沿川自治体・舟運事業者・地域住民による協議会等と連携し、舟運の利活用のために社会実験・イベント等の取り組みを実施。
- ・淀川資料館における淀川の歴史・環境などの解説、さくらであい館におけるVR(仮想現実)を活用した浸水情報の説明等、広報活動を実施。



河川レンジャーによる出前授業
(自然観察)



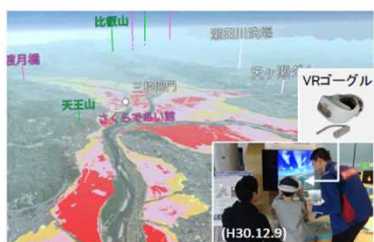
淀川沿川まちづくりプラットフォーム



スイスクイイベント
(船上で説明)



団体説明の様子(淀川資料館)



VRを活用した浸水情報の提供



マイタイムライン説明会

＜地域の取り組み＞

＜防災＞

- ・まるとまちごとハザードマップでは、青色テープを住民が主体となって設置。
- ・住民が自らマイ防災マップ、マイタイムラインを作成し水害リスク等を把握。
- ・近隣の住民同士が協力し合い防災活動に取り組む「自主防災組織」により、地域の防災力を向上。

→ 防災意識を高め、逃げ遅れによる被害を回避。



マイタイムライン作成
(八幡市)

まちづくり
ハンドブックⅡ
～自主防災活動編～



高槻市
高槻市コミュニティ市民会議

自主防災組織
(高槻市)



まるとまちごとハザードマップ
地元視察会(門真市)



小学校、PTA、自主防災会等参加の
防災講座(枚方市)

＜治水＞

- ・個人が雨水タンク等の貯留施設を整備することにより、河川への流出を抑制し、洪水負担を軽減。



貯留施設設置事例(亀岡市)
(図は「雨水の利用の推進に関する
ガイドライン(案)」より)

■木津川市エコ生活応援補助金(木津川市)

- ・環境負荷軽減のため、住民が設置する雨水タンク等の購入費を補助。
補助額: 購入費の3/4以内(上限3万円)

■雨水タンク設置補助金制度(摂津市)

- ・市内に住所を有し、かつ市内の一戸建ての住宅に設置される雨水タンクの購入を補助。
補助額: 材料・工事費の1/2以内(上限3万円)

台風14号への対応(令和3年9月17日)

～淀川流域防災タイムライン(試行)によるリモート会議[三島地区]～

R3.9.22

- 淀川河川事務所では、台風14号に伴う豪雨災害に備えて、淀川流域三島地区の防災タイムライン(試行)によるリモート会議を実施。
- 会議では、淀川河川事務所より水位予測情報、气象台から台風に関する最新情報の説明。関係各自治体からは災害対策本部の設置状況等情報共有を実施。最後に、近畿地方整備局より、内水氾濫への警戒とポンプ車出動要請に関する案内を実施。

概要

- 日 時：令和3年9月17日(金)
11:00～12:00
- 出席者：大阪市、吹田市、高槻市、茨木市、摂津市、島本町、淀川右岸水防事務組合、大阪府、近畿地方整備局(防災G、河川部、淀川河川)、大阪管区气象台 等

气象台からの情報共有

今後の気象シナリオ(9月17日10時現在 大阪管区气象台発表)

	17日										18日			
	9-12時	12-15時	15-18時	18-21時	21-24時	0-3時	3-6時	6-9時	9-12時	12-15時	15-18時	18-21時	21-24時	
台風最接近	懸前	懸過ぎ	夕方	夜の ほしめど	夜遅く	未明	明け方	朝	懸接近	懸接近	懸過ぎ	夕方	夜の ほしめど	夜遅く
早期注意情報(雨)					中	高	高	中						
大雨(浸水) (ミリ)	大阪府	5	1	1	5	30	50	50	30	30	1	0	0	0
大雨(土砂)	大阪府					注	注	注	注	注				
雷	大阪府					注	注	注	注	注				
早期注意情報(風・波)														
強風 (メートル)	陸上	7	7	7	12	13	13	13	12	12	12	12	12	12
	海上	10	10	10	15	16	18	18	15	15	15	15	15	15
波浪 (メートル)	大阪府	1	1	1	1.5	2	2	2	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5
高潮 (メートル)	大阪府	-0.1	0.5	0.9	1	0.8	1.5	1.5	0.4	0	0.4			



<気象要因と注警報の見通し>
 ・17日夕方から18日昼前にかけて、台風が接近・通過する影響で大気の状態が非常に不安定となる。
 ・18日未明から明け方にかけての期間を対象に、大雨警報(浸水害)を発表する見込み。
 ・17日夕方から18日昼前にかけて、竜巻などの激しい突風や落雷、急な強い雨に、17日夜からは強風・高波に、18日未明から明け方にかけて、高潮にも注意してください。

<24時間降水量(17日12時～18日12時)>
 120ミリ

<その他>
 ・气象台では、17日夜は大雨の体制を配備。
 ・台風の進路予想がさらに南に変わった場合には、シナリオが変更になることがありますので、最新の情報を確認してください。

リモート会議の様子



【問合せ】

国土交通省 近畿地方整備局 水災害予報センター
 〒540-8586 大阪市中央区大手前1-5-44 TEL06-6942-1141(代表)



住民自らの行動に結びつく
 水害・土砂災害ハザード・リスク
 情報共有プロジェクト